



読書活動支援者育成事業研修会

本事業は、子どもの読書環境を充実させ、生涯にわたる望ましい読書習慣を形成することをねらいとして実施しています。

今年度も、地域で読書活動を推進するボランティアの方々や各学校の先生方、学校司書の方々・図書館司書の方々を対象に6月18日（火）に郡山市労働福祉会館を会場に開催しました。研修会は、実践発表、講話、講義・演習の3部構成としました。

実践発表は、令和5年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰受賞校の郡山市立守山小学校 学校司書 菅野睦子様より、『子どもの感性を磨き、読書する楽しさと喜びを実感できる学校図書館を目指して』と題して実践発表をいただきました。

講話は、浪江まち物語つたえ隊 語り部 八島妃彩様より、演題『「語り継ぐこと」～笑顔あふれる浪江町から震災・そして今を語る～』として講話をいただきました。

午後の研修では、元小野町地域おこし協力隊 穴戸佳織里様より『「読書でコミュニケーション」～本の紹介ゲーム「ビブリオバトル」体験講座』の講義・演習を行っていただきました。



参加者の方々が熱心に話を聞いたり、ビブリオバトルの演習に真剣に取り組んだり充実した研修になりました。ビブリオバトルを初めて体験した方もおられ、今後の読書支援の一つとして取り入れていきたい等、多くの肯定的な感想をいただきました。きっと県中地域のたくさんの場所で「ビブリオバトル」が展開されていくに違いありません。

令和6年度ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト 情報発信プロジェクト
東日本大震災子ども支援基金事業

第10回

ビブリオバトル福島県大会県中地区予選会

発表参加者(中学生・高校生)大募集!

日時 令和6年8月31日(土) 13:00~
※申込者多数の場合、午前中に予選予選を実施する場合があります。

会場 郡山市労働福祉会館
〒963-8014 福島県郡山市虎丸町7-7

発表参加者 **7月31日(水) 〆切**

～ビブリオバトルとは～
1. 発表者
2. 観戦者(5名)
3. 観戦者(10-12名)
4. チャンプ本
5. 観戦者(10-12名)

～観戦者ボランティアも大募集!～

あなたの1票でチャンプ本が決まる! (観戦者)

必ずお宅も御参加ください! ぜひご参加ください! (ただし、投票には条件があります。)
一冊にビブリオバトルを盛り上げませんか! 進行・受付等の運営ボランティアも募集します!
※実施要項を参照の上、メール・FAX・郵送にてお申し込みください。

【問い合わせ先】 福島県教育庁県中教育事務所 (担当: 尾花)
〒960-8540 郡山市露田一丁目1番1号
TEL: 024-935-1488 FAX: 024-935-1484
E-mail: kenchu.kyoutokubref.fukushima.jp

情報発信プロジェクト

<ビブリオバトル福島県大会県中地区予選会>

～参加者・観戦者を募集しています～

～参加申込について～

(1)発表者 7月31日(水) 〆切

①県内の中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部に所属する生徒。
学校の所在地のある地区大会のみ参加可能。
参加費無料。

②発表者は各校1名まで

③上位各1名が県大会へ
10月12日(土) 福島県立図書館

(2)観戦者 開催日(8/31)の1週間前〆切

・どなたでも参観自由。参加費無料。

県中域内地域連携担当教職員等研修会 ～学校も地域も win-win になろう！～

6月26日（水）、64名が参加し、「県中域内地域連携担当教職員等研修会」を開催しました。研修会では、水戸生涯学習センター次長兼企画振興課長 鈴木昭博様から、『「地域と連携することで学校・地域はどう変わるのか？」～学校も地域も win-win になろう！』と題して、講演・グループワークをしていただきました。

小、中、義務、県立学校教員や行政担当で編成されたグループワークでは、SOUND カードを使ったワークショップを行い、「10年後の福島のありたい姿」という問いに、対話・熟議・合意形成を意識した活発な意見交流がなされました。このグループワークを通して、対話と合意形成の大切さを改めて確認し、今後の話し合いの場や学校運営協議会での熟議に生かせるスキルを体得しました。このような経験を積み重ねることで、さらにスキルの向上につながることを教示していただきました。また講話では、地域と学校の連携・協働がもたらす効果として、子どもたちに育まれた社会性や自己肯定感、教職員の多忙化解消等の各事例や講師の経験等を紹介していただきました。



参加した方々からは、「それぞれの学校・地域に応じて、できることを考えたり、学校内外で連携を図ったりしていきたい」「今日学んだことを自校で実践してみたい。他の先生方に伝達していく」等の感想を多数いただきました。

この研修会を機に、各学校、地域での実践を重ね、未来を担う子どもたちのよりよい成長と豊かで活力ある地域社会の実現のために、さらに尽力していただければと思います。

<SOUND カードとは？>

（講師資料一部抜粋）

場の活性化を促す「言える化ツール」
どんな話題でも、メンバーでも「対話」が可能



- ✓ 全員が話せる
- ✓ じっくり話を聴ける
- ✓ 「問い」がきっかけで深い「対話」が始まる

それぞれの頭文字をとって、【SOUND】という。
Step1～5を踏んでいくことで、より充実したより内容の濃い「対話」「合意形成」「熟議」が成立する。「学校運営協議会」の「熟議」に生かせる。
（本研修では、Step1・2を実施）

※昨今、SOUND カードは注目されていて、各地で SOUND カードの研修会が開催されています。

